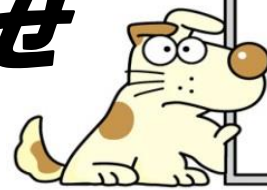




# ぎょうじのおしらせ

くわしくは、<sup>しよくいん</sup>職員におたずねください。



- : きゅうかんび
- ☆: ぎょうじのある日
- ♪: <sup>ほん</sup>本の<sup>もりの</sup>小さな<sup>音楽会</sup>音楽会

12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 ☆	8	9
10	11	12	13	14	15	16 ♪
17	18	19	20	21 ☆	22	23 ☆
24	25	26	27	28	29	30
31						

1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13 ♪
14	15	16	17	18 ☆	19	20
21	22	23	24	25	26	27 ☆
28	29	30	31			

2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15 ☆	16	17
18	19	20	21	22	23	24 ☆
25	26	27	28			

12月7日(木)午前11時から  
 赤ちゃん絵本の会「おひざにだっこ」  
 ぴよぴよクラス(おおむね1歳まで)

12月21日(木)午前11時から  
 赤ちゃん絵本の会「おひざにだっこ」  
 たんぽぽクラス(おおむね1歳以上)

12月23日(土)午後2時から  
 おたのしみ会

1月18日(木)午前11時から  
 赤ちゃん絵本の会「おひざにだっこ」  
 (対象:0~2歳)

1月27日(土)午後2時から  
 カンガルーポケットさんによる  
 冬のおたのしみ会

2月15日(木)午前11時から  
 赤ちゃん絵本の会「おひざにだっこ」  
 (対象:0~2歳)

2月24日(土)午後2時から  
 おたのしみ会

※システム機器更新作業のための臨時休館  
 1月30日(火)~2月8日(木)

# じどうとしょしつだより

平成29・30年 冬号



じどうとしょしつ ぎょうじ ぶん ごご じ あ  
 児童図書室は、午前9時30分から午後5時まで開いています。

ほん さつ しゅうかん か  
 本は10冊まで、2週間借りられます。

きょうとしちゅうおうとしよかん  
 京都市中央図書館 (でんわ)802-3133



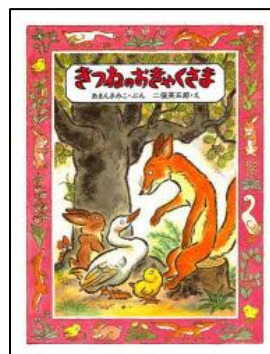
京都市中央図書館  
 児童図書室



# キツネはずるい？

キツネのイメージはずるがしこい？人をだます？かわいい？  
 今回、紹介する本はキツネのイメージが変わるような本を中心に集めてみました。

## きつねのおきゃくさま



あまん きみこ／ぶん  
 ふたまた えいごろう  
 二俣 英五郎／え  
 サンリード

E
キ

きつねに1羽のやせたひよこがたずねました。「どこかにいいすみか ないかなあ」。きつねはがぶりと食べようと思いましたが、やせているので太らせてから食べようと考えました。きつねは、ひよこを自分の家に招いて優しくひよこの世話をしました。きつねの家にはやせたあひるとうさぎも住み始め、きつねはひよこ・あひる・うさぎをまるまると太らせました。そこで、きつねは……。

## キツネのおとうさんがニッコリわらっていました



みやにし たつや／さく・え  
 きん ほししや  
 金の星社

E
キ

ある日、きつねのお父さんが「いまからブタをつかまえてくる。きょうのごちそうはブタだ」と家族に言って、ブタのまちに出かけました。お父さんはブタをたくさんつかまえようとしたが、ブタにお手伝いを頼まれて、手伝いをしているうちにブタをつかまえるチャンスがなくなってしまいました。家に帰ったお父さんは家族にニッコリわらって、何と言ったでしょう。

## 「キツネ」

たけたづ みのる ぶん しゃしん かん  
 竹田津 実／文・写真 アリス館



489
タ

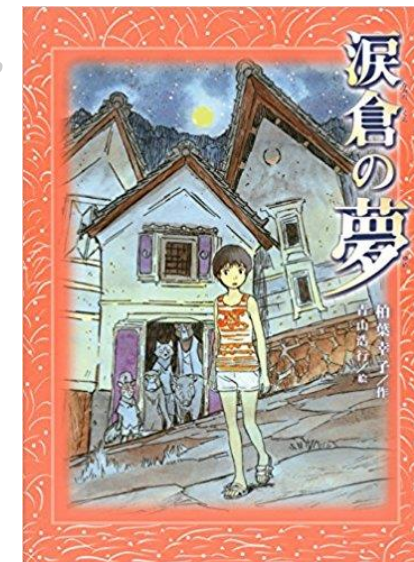
「トウ」という名前のキツネの1年間を記録した本です。2月はキツネにとって、結婚の時期。トウも結婚して赤ちゃんを生まります。キツネは哺乳類の中でも珍しく、お父さんが一緒に子育てをします。日本の動物でお父さんも子育てする動物は、キツネとタヌキだけです。トウ家族の1年を記録した写真本になっています。

# ほん 本みーつけた

## なみだくら ゆめ 涙倉の夢

913
カシ

かしわば さちこ ちよ  
 柏葉 幸子 著  
 こうだんしゃ  
 講談社



主人公の亜美は、「なにかのために一所懸命というか、ねばることがないのよ」と母にいつも言われている中学一年生。最近、亜美はなんだかうまくいっていません。親友がほかの中学に通うことになり、一緒にトイレに行く友達を探すのも一苦勞。そして戸惑っているうちに「G W」が過ぎて気がつくクラブさえ決まらないまま夏休みがやってきました。

そんな亜美は母に勧められるままに祖母の家で休みを過ごすことになります。家から亜美に届いた荷物の中に、「三」と書いてある小さな木札がついた鍵がまぎれていました。それは母が買い取りたがっていた本家の倉の鍵でした。祖母の実家「さがえ」は昔、温泉街をしており、いくつも倉をもっていました。その鍵は涙倉とよばれる三番目の倉の鍵だったのです。どうして亜美の母はこの倉を欲しがったのでしょうか？倉の中に入った亜美はおんせんが、栄えていた頃にタイムスリップします。そこは人間と動物がいまより仲良く暮らしていた世界でした。現在と過去をなんとか行き来することになった亜美は時代や環境の変化とともに、変わっていく山と里との関係やそれにまつわる謎と関わることになります。

この物語はファンタジーですが、不思議な力を使えるようになったり、突然現れた妖精の力を借りて解決というわけにはいきません。主人公が自分の知恵をしばり、足をつかい、ほかの登場人物と力をあわせて謎を解いていきます。

「一日、命が無事にあっただけでいい」

「オレの命はある。ここにいなくても、オレの命があるんだもの、それでいい。」

命があればそれでいいという山のものたちの思いがわたしにはわからないと亜美は思います。しかし、亜美は「生きる」ことを彼女なりに考え続けるのです。

たいしょう しょうがつこうこうがねん  
 対象 小学校高学年から



# あかえほん 赤ちゃん絵本

寒い季節に読んでほしい！  
ぬくぬくをキーワードに体も心も  
ほっこりと温まる赤ちゃん絵本を紹介し  
ます。



『おふとん かけたら』

かがくい ひろし さく  
ブロンズ新社



『おふろでとつぷーん』

.あまん きみこ さく  
上野 紀子 え  
ポプラ社



『だっこだっこ  
だーいすき』

かみじょう ゆみこ. ぶん.  
100%ORANGE え  
福音館書店

だっこ だっこ だーいすき！  
大好きな人にだっこしてもらおうと  
からだ 心も 体も心も温まるね

『だっこだっこ  
だーいすき』

かみじょう ゆみこ. ぶん.  
100%ORANGE え  
福音館書店

だっこ だっこ だーいすき！  
大好きな人にだっこしてもらおうと  
からだ 心も 体も心も温まるね

たこさん、ありさん、ソフトさん  
みーんなお似合いのぬくぬく  
おふとんくるまれば 幸せ寝顔の  
出来上がり♪

E
オ

じゃぶ じゃぶ とつぷーん  
あつくんがおふろに入っていると  
いろんな動物が遊びにきます。  
みんなであつたまる。

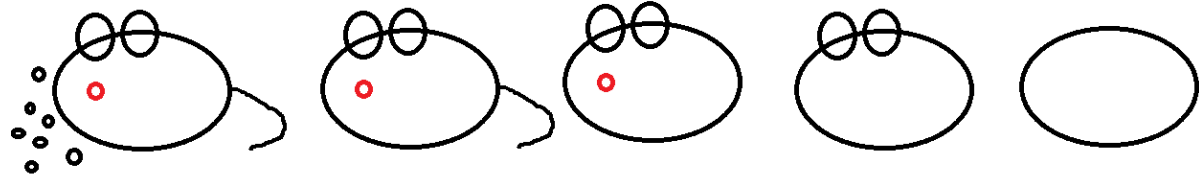
E
ア



0歳の赤ちゃんから  
図書館カードを  
つく  
お作りします。  
この機会に  
ぜひどうぞ！

図書館では、月に1~2回  
赤ちゃん絵本の会を開催  
しています。くわしくは  
職員におたずねください。

## 詩のコーナー



たまごが一つ

『パタポン』  
幼い子の詩集 2

ねずみはなにたべる  
豆たべる

しっぽを  
かいて  
ねずみに  
なった

お豆が  
一つ

おだんご  
一つ

たまごが  
一つ

川崎  
洋



## 「銀ギツネのドミノ」



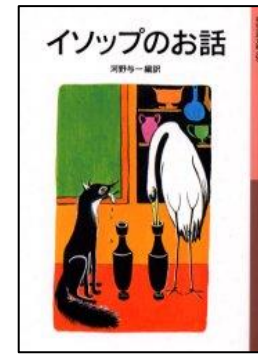
アーネスト・T・シートン／文・絵  
いまいずみ よしはる やく かいせつ  
今泉 吉晴／訳・解説  
どうしんしゃ  
童心社

480
シ

銀ギツネのドミノは10匹の家族でしたが、  
人間や猟犬におそわれ、母・妹の3匹の  
家族になってしまいました。それでも一人だち  
したドミノはスノーラフというメスのキツネを  
お嫁さんにして、新しい家族をつくれます。  
ある日、スノーラフは猟犬に追われます。  
スノーラフのおなかの中には、もうじき生ま  
れる赤ちゃんがいました。ドミノはスノーラフ  
を守ることができのでしょうか？  
この本は絵もシートンが描いています。  
シートンの文と絵を楽しんでください。



## 「イソップのお話」

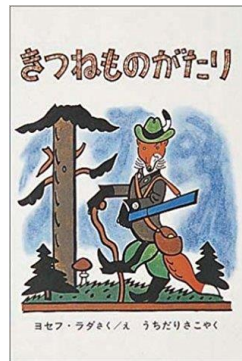


イソップ／著  
かわの よいち へんやく  
河野 与一／編訳  
いわなみしよてん  
岩波書店

B908
イ



イソップは寓話の父と呼ばれ、この「イソップのお話」には実に300ものお話が書かれています。その一つに「うさぎとかめ」のお話もありますが、このお話にキツネが登場しているのは知っていますか？ぜひ、確認してみてください。キツネの他にもたくさんの動物の話があります。また一つ一つのお話が短いので、好きな動物から読んだり、パッと開いたところからも読めるようになっています。



## 「きつねものがたり」

ヨセフ・ラダ／さく・え  
うちだ りきこ  
内田 莉紗子／やく  
福音館書店

933
ラダ



きつねくんは女の子に飼われていました。女の子からたくさんのお話を聞いたきつねくんは、人間の言葉を理解し、話し、書けるようになりました。きつねくんはキツネらしく、女の子のところから一人だちしますが、エサの取りかたを知らません。おなかをすかせたきつねくんはある日、イソップの「きつねとぶどう」のお話ををこっそり聞きます。そこできつねくんは…。最後は女の子のお父さんと同じ仕事で森番にまでなります。かしこくて、ときどきいたずらもするけど、なぜか憎めない、きつねくんの物語です。



# とり 鳥とりどり とりまとめ。

世界に約1万種以上いるといわれる鳥。その特徴は？

- 足が2本
- 2枚の翼とたくさんの羽がある
- くちばしがある
- 歯がない
- たまごから生まれる



- 巣を作る鳥、作らない鳥がいる
- 何万キロという距離を移動する渡り鳥とずっと同じ場所でくらす留鳥がいる。



## 俊足のダチョウ

現在生きている鳥の中でいちばん大きいダチョウ。ダチョウは鳥類だけど、空を飛ばず、そのかわり走ることが得意。時速50kmで30分間走ることができ、最高で時速70kmのスピードも出せる。食べ物の少ない乾燥地帯で暮らすダチョウは、人間ではとても食べられないような硬い物を食べることができる。ただ、歯が無いので全て丸呑み！



※ 足の指が2本しかないのは、鳥の中でダチョウの仲間だけ！

## 不動のハシビロコウ

ハシビロコウの魅力は鋭い眼光と巨大なくちばし。くちばしのはばが広いから『ハシビロコウ』。大きなくちばしは、重そうにみえて案外軽く、バケツのように水を運ぶのに使うことも。年をとるにつれて目の色が黄色から青色に変わる。

いちばんの特徴はとにかく動かないこと。めったに鳴かず、気に入った場所にずっと住み、遠くまで飛んでいくことはない。また、動かないことで周りの風景にとけこんで隙を狙うという方法で狩りをするため、魚が水面に現れるまでひたすら動かない。えものの消化にも時間がかかるので食後もやっぱり動かない！



『ハシビロコウのはっちゃん』  
よしだあつこ/作  
鈴木出版



『とうさんのあしのういで』  
いもとようこ/作・絵  
講談社

## 托卵のカッコウ



どっちが迷惑？！



## はやにえのモズ

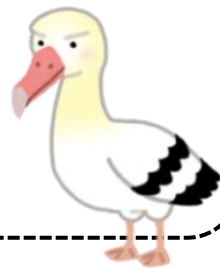


カッコウは巣を作らず、『托卵』する習性がある。托卵とは、仮親(育ての親となる他の鳥)が卵を産む時、隙をみて巣に近寄り、卵を1つ抜き取ってかわりに自分の卵を産んで他の鳥に育ててもらうこと。カッコウのヒナは1~3日早くふ化して(卵から出て)仮親が自分だけを世話するように他の卵を巣の外に放り出してしまふ。ただ、托卵されたことに気付いた仮親がカッコウの卵を巣の外に捨てることもあるよ。

モズには、とった獲物を木の枝やトゲに刺しておく『はやにえ』という習性がある。秋に多くみられることから、冬に備えて蓄えているという考えと、獲物をどこかに刺してひきちぎって食べた、食べ残しや食べ忘れという考えがある。ただ、確かなことは分かっていない。

## 悲劇の鳥 アホウドリ

アホウドリは、大きな翼をほとんど羽はたかせず数千kmもの距離を移動できる、飛び能力の優れた鳥。『あほうどり』という名前の由来は、アホみたいに簡単につかまえられるから。飛び立つのに助走が必要ですぐには逃げられず、しかも人間への警戒心があまりない。卵を抱えた親鳥は棒を持った人間が近づいても逃げなかったため、羽毛が高値で売れた時代にたくさん殺され絶滅しかけたことがあるよ。



## 世界一の育ペン コウテイペンギン

世界一寒い南極大陸でくらすコウテイペンギン。ペンギンの中でいちばん大きく、堂々とした雰囲気がある(皇帝)のようであることが名前の由来となっている。コウテイペンギンはマイナス60度にもなる寒さの厳しい冬に子育てをする。メスのペンギンは卵をひとつ産むとエサを求めてすぐに海へ出て行き、かわりにオスが卵を温める。雪と氷しかない南極では巣をつくることはできず、卵が凍らないようオスは足に卵をのせて、袋のようになったおなかの皮をかぶせ約2ヶ月間ずっと立ったままエサも食べずに卵を温める。体の脂肪だけで生き抜き、体重はもとの半分くらいに減ってしまう。ヒナがかえる頃、メスが戻りようやく交替してエサを求めて海に出る。親鳥はヒナが一人前になるまでの約7ヶ月、交替で食べ物をはこび協力して子育てをする。



## 参考にした本

- 『鳥の学研の図鑑LIVE』 小宮輝之/監修・著 学研教育出版
- 『きれいですごい鳥』 赤木かの子/文 パイインターナショナル
- 『鳥超・びっくりパワー』 今泉忠明/監修・著 旺文社

- 『ざんねんないきもの事典 続』 今泉忠明/監修 高橋書店
- 『やあ!地球のなかまたち その2』 わしお としこ/文 アリス館
- 『モズのくらし』 菅原光二/著 あかね書房

- 『空を飛ばない鳥たち』 上田恵介/監修 誠文堂新光社
- 『ペンギンのヒナ』 ベティ・テイサム/さく はんざわのりこ/やく 福音館書店
- 『ずかんヘンテコ姿の生き物』 今泉忠明/監修 技術評論社
- 『どうしてそんなかお? 2』 有沢重雄/作 アリス館